

授業科目名	授業担当者(担当)氏名	区分	単位	年間授業時間	受講学年	開講年次
作品分析Ⅰ	池原 舞	必修	2	30時間	1	毎年

《授業の概要》

本クラスでは、西洋音楽諸作品の構造を楽譜から分析する力を養う。その作品にまつわる歴史的・文化的コンテクストは一旦最小に限定し、楽譜に書かれた情報から楽曲形式を捉え、音楽のナラティブ構造を把握する。この能力を鍛えることは、広範なコンテクストを加えて考察する、次年度の「作品分析Ⅱ」の理解に役立つであろう。なお、扱う楽曲は、履修者の専攻や理解度によって変更する可能性がある。

《到達目標》

西洋音楽諸作品の基本的な形式構造を、自らの力で楽譜から把握する基礎力を身につける。

《授業計画》

第1回 [4/11(火) 11:20~13:00]

授業: 二部形式と三部形式における「解決」および「回帰」

事前: 「二部形式」と「三部形式」の定義を辞典で確認する。

事後: 演奏したことのある作品から「二部形式」の事例と「三部形式」の事例を探し、アーチ型の構造を感覚的に捉える。

第2回 [4/25(火) 11:20~13:00]

授業: ソナタ形式の「原理」

事前: 「ソナタ形式」の定義を辞典で確認する。

事後: 任意のソナタ形式の作品より、調性構造が典型から逸脱している作品を一つ以上探す。

第3回 [5/9(火) 11:20~13:00]

授業: ソナタ形式における副次主題

事前: ウォルフガング・アマデウス・モーツァルトの《ピアノ・ソナタ第17番》(KV. 570)の第1楽章を聴き込んでおく。

事後: 副次主題の扱いが特徴的なソナタ形式の作品を一つ以上探す。

第4回 [5/30(火) 11:20~13:00]

授業: 三つ以上の主題をもつソナタ

事前: ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンの《ピアノ・ソナタ第23番「熱情」》(作品57)の第1楽章を聴き込んでおく。

事後: 主題が三つ以上置かれているソナタ形式の作品を一つ以上探す。

第5回 [6/13(火) 16:00~17:40]

授業: ロンド・ソナタ形式

事前: 「ロンド形式」および「ロンド・ソナタ形式」の定義を辞典で確認する。モーツァルトの《ピアノ・ソナタ第13番》(KV.333)の第3楽章を聴き込んでおく。

事後: ロンド・ソナタ形式で作られた作品を一つ以上探す。

第6回 [6/27(火) 11:20~13:00]

授業: 循環形式

事前: 「循環形式」の定義を辞典で確認する。セザール・フランクの《ヴァイオリン・ソナタ》を聴き込んでおく。

事後: 循環形式で作られた作品を一つ以上探す。

第7回 [7/4(火) 11:20~13:00]

授業: 素材の引用

事前: アレクサンドル・グラズノフの《ヴァイオリン協奏曲》(作品82)を聴き込んでおく。

事後: 任意の作品による分析レポートを作成する。

- 第 8 回 [9/5 (火) 11:20~13:00]
 授業: 分析レポートの返却(個別指導)
 事前: 任意の作品による分析レポートを提出する。
 事後: レポートの講評を参考に、再考察する。
- 第 9 回 [9/19 (火) 11:20~13:00]
 授業: 「自由なソナタ形式」再考①
 事前: フレデリック・ショパンの《バラード第 1 番》(作品 23)を聴き込んでおく。
 事後: 講義で扱った藤田茂のバラード理論の捉え方で、ショパンの《バラード第 2 番》、《バラード第 3 番》、《バラード第 4 番》を聴く。
- 第 10 回 [10/3 (火) 11:20~13:00]
 授業: 「自由なソナタ形式」再考②
 事前: ロベルト・シューマンの《幻想曲》(作品 17)を聴き込んでおく。
 事後: 楽曲構造が活かされたシューマンの《幻想曲》の録音を探す。
- 第 11 回 [10/10 (火) 11:20~13:00]
 授業: フーガ
 事前: 「フーガ」の定義を辞典で確認する。ヨハン・セバスティアン・バッハの《平均律クラヴィーア曲集第 1 巻第 4 番》(嬰ハ短調 BWV849)を聴き込んでおく。
 事後: 構造を意識しながら、バッハの《平均律クラヴィーア曲集第 1 巻第 4 番》を弾く。
- 第 12 回 [11/14 (火) 11:20~13:00]
 授業: 複雑な構造をもつソナタ(前半)
 事前: フランツ・リストの《ピアノ・ソナタ》ロ短調を一人の演奏家の演奏で聴き込んでおく。
 事後: 主題変容の技法について復習する。
- 第 13 回 [11/21 (火) 11:20~13:00]
 授業: 複雑な構造をもつソナタ(後半)
 事前: リストの《ピアノ・ソナタ》をタイプの異なる別の演奏家の演奏で聴き込んでおく。
 事後: ナラティブ構造が活かされたリストの《ピアノ・ソナタ》の録音を探す。
- 第 14 回 [12/5 (火) 11:20~13:00]
 授業: 主題変容と和声の綾
 事前: クロード・ドビュッシーの《牧神の午後への前奏曲》を聴き込んでおく。
 事後: 任意の作品による分析レポートを作成する。
- 第 15 回 [1/16 (火) 11:20~13:00]
 授業: 分析レポートの返却(個別指導)
 事前: 任意の作品による分析レポートを提出する。
 事後: レポートの講評を参考に、再考察する。

《履修資格／履修に必要な予備知識や技能》

1年次生

《授業の形式》

講義

《成績評価の要点》

試験:0% 提出課題・作品発表等(提出された事後学習および2度のレポートの完成度):60%

受講姿勢(事前学習および講義内における理解度):40%

成績評価は、上記の項目に基づき「優」「良」「可」「不可」で評価する。

なお、事後学習やレポートの提出期限は別途講義内で指示する。

《課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法》

事後学習についてのフィードバックは、次の回の冒頭で一括して行う。第 7 回講義後に提出されたレポートは、第 8 回で個別にフィードバックを行う。第 14 回講義後に提出されたレポートは、第 15 回で個別にフィードバックを行う。

《事前・事後学習、必要時間》

1 コマにつき、およそ 180 分程度の事前事後学習を必要とする。

《授業時間以外で、この授業内容等について質問がある場合》

オフィス・アワーを活用していただきたい。それ以外は、メールにて受け付ける。